

井草会報

2023
NO.56

発行 井草会
練馬区上石神井2-2-43
東京都立井草高等学校内

アフターコロナ時代「井草の絆」をどう紡ぐか

同窓会委員長（昭和54年卒・31回生E組） 田村 光孝

これまで隔年で開催していた『井草高校同窓会パーティ』は、2021年・2023年の2回にわたり新型コロナウイルス感染症の流行により開催を見送らせていただきました。さらには昨年末に開催された常任理事会において、「当面、パーティ形式での同窓会は開催しないこと」を決定いたしました。

ウイルスの感染拡大によって私たちの生活習慣や価値観は大きな変化を余儀なくされました。ようやくアフターコロナを迎えたとの認識ですが、夜が明けきらない今、難しい状況判断の中で「同窓の集まり」もニューノーマルな形として理解されなければならないと考えています。

他方、一部クラス会や同期会の開催も報告されています。今後も井草会として絆を紡ぐ支援を続け、「援助金制度」の活用や参加者集めのサポート等により同窓生のネットワークを支えていきたいと考えております。事務局までご相談いただければ幸いです。

このような時代の中で荒波にもまれても自由と規律、自主自律という「井草」の校風は不変です。どうぞご自愛なさり、苦しい時も輝かしい時も青春を過ごした母校の3年間を改めて振り返り新しい一步を踏み出していましましょう。

会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

（「援助金制度」についてはP.11をご覧ください）

平成3年卒・43回生C組クラス会

2022年11月3日 新宿京王プラザホテル

18名の参加でした。担任の高橋公治先生と同窓生と楽しい3時間を過ごすことができました。10年ぶりの開催でもあり遠くはボストンからオンラインで、神戸、茨城など地方からの参加、今回来られなかった者の動画での近況報告など同級生が集まってくれました。（本多 弘明）



2022年度同期会・クラス会報告

昭和51年卒・28回生同期会

2022年11月12日 ウルフギャング・バックアレア品川店

『出会ってから50年、これからもよろしく!』と題し、入学50年を迎える節目として開催しました。コロナ禍未終息の折、広い会場を貸切り料理は個別配膳、アルコール消毒やマスク会食を促すなど感染防止に努めました。当日は地方からの参加も含め77名もの同期が参加しましたが、皆快く協力いただき、「安全に楽しく」盛り上がった同期会となりました。

（木曾 理）



昭和37年卒・14回生F組クラス会

2023年3月7日 新宿ワシントンホテル本館

参加者24名。しばらくコロナ禍でできずにいたクラス会に、多くの方が今年傘寿を迎える歳にも関わらず仲間と会話する澁刺した顔と顔。高校時代3年間共にした教室が一瞬よみがえったような光景が。あっという間の2時間でした。「クラス会我が歳を聞く惚けた友」とならぬよう気合を入れる意味で閉会は一本締めで決め再会を期しました。

（小島 慶子、高島 郁夫）



（紙面の都合上コメントは編集しています。原文は井草会ホームページでご覧になれます。）

目次

同窓会委員会から	1
OB・OGインタビュー（蓮見 翔さん）	2・3
会員からの便り	4
恩師からの便り	5

OB・OGインタビュー（赤星 由利さん）	6・7
キャンパスニュース	8・9
母校への助成金活動報告	10
幹事総会報告	11
井草会掲示板	12

OB・OGインタビュー

「井草祭の経験が今につながっている」

はすみ しょう

蓮見 翔 さん (2016年卒・68回生E組)

俳優、脚本家、演出家、ラジオパーソナリティ

演劇とコントを軸に、ここ数年注目を集めている8人組・ダウ90000を主宰する蓮見 翔さん。この道に進むことになったきっかけや演劇・コントへの思い、井草高校での思い出などをうかがいました。聞き手は同じ日本大学芸術学部卒で広告・デザイン分野で活躍中の山岸 萌さん (2012年卒・64回生C組) です。



Photo by 樋口 涼

—最近、演劇やコント、バラエティ番組等で蓮見さんのことをお見かけする機会が多くなりました。簡単にお仕事の内容を紹介していただけませんか。

ダウ90000という8人組でコントと演劇を年1回自主公演の形で行い、テレビでもコントをやっています。僕個人としては他の芸人さん向けにドラマの脚本を書き、ラジオへの出演もしています。

—クリエイティブな活動をされるようになったきっかけは、高校時代から？

そうですね、お笑いがすごく好きだったので、高2の時に文化祭で映画のようなものを撮ったところ面白いと言われてもらい、高3でも劇と映画を上演しました。大学(日本大学芸術学部映画学科)に入学する時もその内容を評価してもらえたので、井草の文化祭での経験が今に繋がっていると思います。



—大学に入って、そこからダウ90000結成に至るまでの経緯をお聞かせいただけますか。

大学1年の終わりの頃、僕ともう一人で演劇サークルを主宰して活動していました。後から後輩たちも加わって今のメンバーになっています。社会人になる段階で、僕ももう少し脚本を書きたかったし、就職する予定のない人には残ってもらって活動を続けることに

しました。それがスタートでした。サークルには最大で40人くらいいたこともありましたが、最終的に残ったのが今の8人ということになります。

—今大活躍中ですが、まだ結成して3年くらいですね。飛躍のきっかけになったお仕事は？

—昨年の夏に開催した第2回の演劇公演が岸田國士

戯曲賞(白水社主催の新人劇作家の登竜門とされる戯曲賞)の最終候補に残りました。それが大きな転機になったわけではないですが、そのあたりから世の中で認めてもらえるようになり、お笑い界の有名な方々とお会いする機会が持てるようになりました。先日爆笑問題の田中さん(昭和58年卒・35回生I組)の前でネタを演ってほめてもらって、嬉しかったですね。

—お笑いコントまたは演劇って蓮見さんの中でどのような位置付けなのでしょう？

演劇は一部のコアなファン向けで大衆受けしない部分もありますね。お客さんのニーズに合わせて、短いコントをいくつも演じるコントライブと、100分の演劇とを意識的に分けています。長さ以外にあまり差をつけていません。僕がダウ90000を始めた当時は23歳。23歳が考えた100分の演劇を見たい人なんて

まずないけど、それでも見てもらいたいから、まずは劇場を取ってそこで毎月コントライブをやって全部YouTubeに流し続けました。北池袋の古い劇場で、背景が黒くて床はフローリング、そんな場所でコントをやったら面白い映像が撮れて、早くから注目してもらえました。お笑いのお客さんは感度が高く、閉鎖的な空気がなかったので、それが良かったと思います。そこから演劇の方も見てもらうようになりましたが、一方で僕たちの演劇で「演劇を初めて見た」という人たちに対して演劇の印象を決める立場になってきたかなと責任も感じています。基本笑わせる部分のある自分たちのスタイルは崩さずに、芸術としての演劇のためになるようなことをしたいと模索しています。コロナ禍が終わって劇場に人が戻ってきた時に真っ先にプラスの影響を与えられる集団でたいです。



インタビュアーの山岸 萌さん（左）と

ー井草祭での制作が

今につながったというお話がありました、井草祭以外の思い出は？授業は真面目に受けていましたか？

あまり良いことではないですが、漫画を読んでいた記憶しかないかも（笑）。行事にみんなで一生懸命に取り組んでいた時の雰囲気が好きでした。その時の仲間との楽しさが今につながっていますね。

ー井草生に、蓮見さんのように将来活躍するためのメッセージはありますか？

僕がやったのと同じことをやって同じように評価されることは難しいと思います。僕がすでにやってしまったし、時代の流れや運もあるので。僕は高校・大学時代にコントを書いている時、こんなことしていても意味があるのか、才能があればもっと早く芽が出ているだろうし、どんなにコントを書いたところで、どうせ何にも届かないんじゃないかと考えていました。それでも、高校でも大学でも何かしら毎日書いていました。今そのおかげで書くのが早くなり、仕事に追われるようになっても何とかかなっている。書く体力がついたと思います。だから、何でもいいので、好きなことは意味がないと思わずにやり続けて欲しいです。

あと、誤解を恐れずに言えば、部活を辞めてみるのもいいかもしれない（笑）。

好きなことならいいですが、もしもあまり好きでないことなら3年間ずっと一つのことに縛られなくてもいいと思う。友達は大それたけれど、友達と同じことをしなくていい。やりたいことをやることのほうがもっと大事だと思います。

（2023年3月8日 エフエム東京ラウンジにて）

聞き手 山岸 萌さん プロフィール

フリーランス「moi.もい」。ポップなイラストを中心としたアニメーションを制作。ブランドとコラボした店頭サイネージや広告、MVのディレクションなども行う。CIBONE GINZA SIX店での個展やUNIQLOとのUTコラボ、「みんなのうた」でのアニメーションなど、各方面で活躍中。



蓮見 翔さんの出演番組・活動の紹介

- ・「AuDee CONNECT」
水曜パーソナリティー
毎週水曜日26：00～
TOKYO FM（JFN系列全国34局ネットで放送中）
- ・「週刊ダウ通信」
ダウ90000
毎週月曜日26：30～
テレビ朝日
- ・「Real Folder Season3」～ダウ90000～
Paraviにて配信中
<https://www.paravi.jp/title/111685>



会員からの便り

～皆様から寄せられた
お便りをご紹介します～

<昭和39年卒・16回生B組 植田 治之>

卒業から六十余年、当時学校の周りは畑ばかり。長閑な環境、美術の授業は屋外で写生。私は生物部と男性コーラス同好会に所属、井草祭では杉並公会堂で音楽部等と演奏会。全校生徒の前で歌った感動を忘れません。体育祭後のキャンプファイヤー、フォークダンスに胸をときめかせたのを思い出します。

私の青春の原点が井草にあったと言っても過言ではありません。現在でも良き自由な校風が残っていることを切に祈って止みません。



最近の井草高校

<昭和41年卒・18回生G組 渡邊(国井)麗子>

懐かしい高校時代、「マドンナ投票で1位の人、有名で隣の練馬高校から見に行ったよ」私と同期の美術関係マスコミ人から言われたのが20年以上前。高卒後、日大芸術学部文芸学科へ進み、特待生で大学推薦により田辺茂一氏（紀伊國屋書店創業者）発行の「風景」編集部勤務。

結婚後は書家である実父、国井誠海の後を継ぎ書道家の道を歩んで50年。現在も書道教室（杉並区、中野区）では高校生から年配の方までリモート併催授業を行っています。会員募集中。

www.seishin-sha.co.jp

<昭和47年卒・24回生H組 島津(加藤)広美>

～これまでの全てに感謝～

今年古希を迎えるに当たって自分の人生を振り返りつつ近況報告させていただきます。

現在私は大阪の高槻市という所に住んでいます。この地でたくさんの出会いがありました。読書会、英語の会、テニスなどの活動に参加し、6年前に主人を亡くした時にはその仲間たちが支えてくれました。

井草時代の旧友達とは還暦同窓会をきっかけに、LINEという今時のツールのお陰で旧交を温めることができている。LINEを通じて、私の32歳で夭逝した兄が作詞作曲した歌に昔軽音部だった友人が編曲し2番まで作ってくれました。また、2年前に逝った大好きな幼馴染の為に私が作った詩に曲を付けてもくれて病床の彼女に送ることができました。彼女の為に折った千羽鶴も同窓生の何人かが手伝ってくれました。とても感動しました。

今はジム通いをしてフラダンス、ジャズダンス、ストリートダンスなどを楽しんでいます。



<昭和58年卒・35回生I組 小川 佳枝>

地元の調剤薬局に勤めて30年が過ぎました。地味な仕事ですが患者さんの喜ぶ顔が、やる気の源です。当時、大学の合格を真っ先に担任の金城和貞先生（昭和47年卒・24回生H組）に伝えたことを覚えています。

同窓会でも幾度となく先生とはお会いし、その度に多方面で活躍している教え子を誇り、集まる皆へ向ける眼差しが優しかったです。

昨年、先生は急逝されました。ご家族の話を嬉しそうにされていた顔を思い出すと残念でなりません。我が青春の大切な2年間お世話になったこと、ご迷惑をおかけしたこと、すべてまとめて金城先生に感謝したくペンをとりました。



35回生I組担任の金城先生
(卒業アルバムより)



恩師からの便り ～井草の思い出～

村野 英克 先生

(昭和42年～60年、数学)

ギターアンサンブル部、ワンダーフォーゲル同好会顧問

井草高校の同窓会にはあまり出てきませんでした。2019年の同窓会が昭和52年卒の記念学年となることを知って参加してみました。昭和52年卒の生徒は私が担任した学年だからです。

卒業生の参加者はとても多かったのですが、顔を見ても名前はほとんどわかりません。それも当然でしょう。卒業の時18歳だった若者が60歳の高齢者になっているのですから。

私が井草高校に着任したのは1967年(昭和42年)で、その年に都立高校は学校群制度になりました。第34群を受験し合格した受験生は、機械的に大泉、石神井、井草のどれかに振り分けられました。それまで井草は学力的にもっとも低かったので、井草に割り振られた生徒はがっかりした者が多かったようですが、個人の自由を伸ばす校風と、しっかりした授業の内容で、井草で良かったと思うようになりました。その後、井草の人気はどんどん上がっていったようです。

井草で思い出すのは毎年9月頃に盛大に行われた井草祭です。クラスで参加することもあったりして、生徒が積極的自主的に作り上げ、学校全体が盛り上がっていききました。

もう一つは、長野県の湯の丸高原にあったからまつ山荘です。この学校の山荘に、1年生の時にクラスごと合宿し、近くの籠ノ登山に登り、池の平の湿原を歩きました。私は担任として引率したのは勿論ですが、夏休みに家族で利用したこともありました。そのほか、顧問をしていたギターアンサンブル部の合宿で使ったこともあります。

卒業アルバムや自分で撮影した写真等を眺めると、生徒たちが明るく活動していた様子が見られます。その写真も、初めのころは白黒だったのが途中からカラーに変わって、時代の変化がわかりました。

私は井草での仕事に満足して授業やクラブ活動等に取り組んでいたと思います。生徒たちもそれにこたえて頑張ってくれました。



多々羅しまなみ公園にて (2022年11月)

当時の井草には、勤続年数が長い先生が大勢いました。みんな一生懸命、学校の仕事や授業に取り組んでいたと思います。

私も、1985年の春に49歳で他校に転勤するまで、18年間も井草に勤め、その間に担任した生徒は3回卒業していきました。

私は昔からクラシック音楽の演奏会に行くことと小さな旅行を趣味にしていました。コロナがはやりだして外国の演奏家はほとんど来日しなくなりましたし、旅行のほうもいろいろ制限があります。年齢のこともあります。

井草高校のことも今は何となく思い出すことが出来ましたが、これからそれが何年出来るのか、それも気になるような毎日です。



湯の丸高原のレンゲツツジ (7月)

OB・OGインタビュー

「音楽で笑顔をとどけたい」

あかほし ゆり
赤星 由利 さん

(昭和60年卒・37回生C組、吹奏楽部) ピアニスト

国立音楽大学・ピアノ科卒業後、クラシック器楽や声楽とのアンサンブルを学んだのち、ポップス、ワールドミュージックなど様々な音楽スタイルを習得されました。その後、スタジオミュージシャンとしてTV番組や演劇などの音楽レコーディングに多数参加。イマジネーション豊かなプレイに定評がある赤星由利さんにお話をうかがいました。



♪ 高校時代、好きな科目／苦手な科目はありましたか。

理数系は苦手でした。でも数学の宮崎順介先生が熱心に教えて下さり、とても感謝しています。

そして、音楽に長年取り組むうちに、音楽が物理や数学とけっして無縁ではないと感じるようになりました。リズムやハーモニーには理数系の法則が潜んでいるかも！と思うのです。

♪ 音楽の授業は楽しかったですか。

吹奏楽部顧問でもあった中沢正樹先生はちょっとべらんめえ調で親分的な先生で楽しかったです。

カレン・カーペンター（カーペンターズ：アメリカのポップ・ミュージック・グループ）が亡くなった時、授業のはじめに「Yesterday Once More」を音楽室の大きなスピーカーで聴かせてくれて、今も思い出します。自主発表会も楽しかったです。私は松任谷由実の「卒業写真」をピアノで弾き語り演奏しました。



♪ ピアノは何歳から始めたのですか。また、いつ頃から音大進学を考えたのですか。

5歳からです。高校時代は部活や委員会の活動が楽しすぎてピアノは一時中断してしまいましたが。笑。進学を考えたのは高2の終わり頃でした。

一生ひとつのことを続けるとしたら、自分には音楽しかないな、と決心しました。

♪ 受験勉強で特に工夫されたことはありますか。

聴いた音を音符に書き取ることはわりあい得意でしたが、肝心のピアノの実技は出遅れていたもので挽回するのに必死でした。

♪ 入試の時のエピソードを聞かせて下さい。

試験当日は寒かったのでブーツで会場に向かったのですが、試験の直前にブーツではペダルが踏みにくいことに気付いて「しまった！どうしよう！」。でも会場係の先生が困っている私を見つけてくれて、靴を借りることができました。

♪ 国立音楽大学では何を専攻されましたか。どのような大学生活でしたか。

ピアノです。学友はみな上手な人ばかりで刺激になりました。

高校の部活でアンサンブルの楽しさに目覚めていたので、音大でも色々な楽器交流をしたくて演奏もよく聴きに行きました。

卒業後、航空関係（キャビンアテンダント）や一般企業に就く学友もいましたが、私自身は、高2で目覚めたばかりの音楽を追求しなきゃ、と思いました。

最初はピアノを教えたり、ホテルのラウンジでピアノを弾いたりしていました。

そこでの経験が今とても役に立っています。教わる側の気持ち、聴く側の気持ち両方とも接することができました。

東京圏での活動が中心ですが、ハワイ島・ヒロの教会で客演の出張もありました。

♪ 野田晴彦さんとのご夫婦のユニット「笛はパラダイス!!」のコンサートスタイルはどうやって確立されたのですか。

「笛パラ!!」に登場する6つの笛は、元々は民族音

楽器です。それぞれに魅力的な音色を持っているので、みんなの知っているポップな曲を楽しいアレンジでピアノと一緒にお届けしたい、喜んでもらいたい！というところからスタートしました。

コンサート後にお客さんから沢山の感想が寄せられるので、お知らせやご案内をホームページでも紹介しています。

<笛はパラダイス!!> オフィシャルサイト
<https://fuefuki.net>



♪ ホームページとコンサートを案内してくれるイラスト



♪ ご夫婦のユニット『笛はパラダイス!!』

♪ **井草高校の校歌がお好きだとお聞きしました。**

校歌は流れるような6/8拍子です。フィナーレに向かうところ「世界の前にわれらあり」、もう1回、「われらあり」と音を上げて繰り返すんですね。そこに熱量があります。心を込めて歌いたいです。

♪ **現役の井草生へ一言をお願いします。**

自由で大らかな校風、という宝物を持った井草高校。そこで3年間をどうか思い切り楽しんで、その思い出が皆さんの生涯に亘る大きな糧となりますように！

(2022年10月9日)



♪ お供の楽器「アンデス25」は音楽のどこでもドア

キャンパスニュース

自主・自由・自律

“igusa 夢 project”

井草高校 進路指導部 山田 憲永

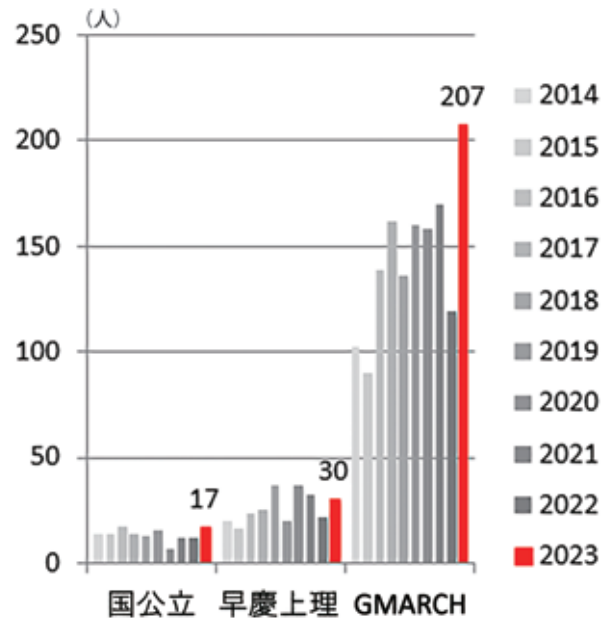
今年度より井草高校に赴任し、進路指導部の主任となりました山田憲永と申します。

武藤先生が築いてこられたものを引き継ぎ、努力をいたす所存でございます。今後ともよろしく申し上げます。

さて、2023年入試ですが、難関私大のGMARCH（学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政）の合格者は現役、浪人合わせて207名という結果となりました。これは過去最高であった2021年入試の結果を上回ることができました。今年度の受験生も先輩たちに負けぬよう、頑張っていくことでしょう。

高校卒業後10年、28歳の自分をイメージできる進路指導に取り組んでまいります。これからも井草高校の後輩たちへの応援をよろしく申し上げます。

■10年間の合格者推移（現役・浪人合計）



■2023年合格状況（既卒者、推薦入学を含む合格者数）

国立大学	跡見学園女子	1	実践女子	3	千葉工業	3	東京農業	15	文教	3	
北見工業	1	桜美林	1	芝浦工業	11	中央	35	東京福祉	1	法政	66
群馬	1	大妻女子	4	淑徳	1	津田塾	7	東京理科	4	北海道学園	4
埼玉	4	嘉悦	2	順天堂	7	帝京科学	1	東京薬科	2	北海道科学	7
東京海洋	2	学習院女子	4	上智	8	帝京	14	東邦	1	武蔵	25
東京外国語	1	学習院	21	昭和女子	2	帝京平成	6	東洋	47	武蔵野	14
東京藝術	1	神奈川工科	1	昭和	1	東海	6	東洋学園	1	武蔵野美術	3
東京農工	2	神奈川	1	昭和薬科	1	東京医療保健	1	独協	2	明治学院	11
山梨	2	北里	2	女子栄養	2	東京家政	5	二松学舎	1	明治	34
信州	1	共立女子	10	白梅学園	4	東京家政学院	1	日本	50	明治薬科	1
公立大学	杏林	6	成蹊	27	東京経済	11	日本映画	1	明星	1	
千葉科学技術	1	國學院	10	成城	11	帝京工科	13	日本赤十字看護	2	目白	7
横浜市立	1	慶応義塾	2	清泉女子	1	東京情報	1	日本経済	1	立教	33
文科省所管外の大学校	工学院	9	専修	26	東京女子	11	日本工業	1	立正	2	
国立看護	3	国際基督教	1	大正	2	東京女子医科	2	日本女子	9	立命館	9
防衛医科	2	国土館	9	大東文化	13	東京成徳	1	日本女子体育	1	和光	1
私立大学	駒沢女子	1	拓殖	3	東京造形	1	日本体育	2	早稲田	16	
青山学院	18	駒沢	21	玉川	1	東京電機	10	文化学園	4	和洋女子	1
亜細亜	6	産業能率	3	多摩美術	4	東京都市	4	文教学院	3		



キャリアアップ集中講座・しごと ～ようこそ先輩～ 「igusa 夢 project」の17年間の集大成として



■ 講師の感想 ■

2013年卒 65回生B組 池尻 燈 (株)マザーハウス

久々の母校、変わらない自由な校風が残っていて、井草の3年間の経験が今の自分自身に繋がっていることを改めて感じることができました。

海外・モノ作り・ファッションという切り口で話しましたが、社会の中で関心のある物事との出会いはあらゆるところにあること。そして少しでも考え・行動し・形にし続けることの価値や一歩踏み出す勇気を届けられていたらいいなと思います。私自身学生時代、色々な方の経験を聞く時間は刺激的でしたし、受験や就活のためではなく、原点となる軸を持つために学ぶ時間の一つとしてこの講座が続くことを願っています。生徒さんからも前向きなパワーをいただきました。貴重な機会をありがとうございました。



武藤先生と講師の皆さん

■ 受講生の感想 ■

この集中講座に参加した1年生の感想の一部を紹介します。

仕事に関しては「建設業のイメージについて知ることができた。旧3K(汚い、危険、きつい)新3K(給料、休暇、希望)」、「ごみ処理の仕事は、地球の未来にとっても大切な仕事であることを学びました」、「ポジティブな面だけでなく、マイナスな面も聞けたことで、現実的なイメージを自分の中でつかむことができた。動物を飼ったことはないけれど、獣医さんの色々な仕事内容や幅広い活躍に私も携わりたいと思った」、「障がい者就職支援の仕事に関連して」『『弱さを隠さなくていい世界』という言葉が心に残った。仕事にやりがいを求めて生きる姿がかっこいい』など、受講生たちには様々な仕事への関心が高まった様子がうかがえました。

また、生き方への感想も寄せられ「僕は特に将来の夢は明確ではないですが、今回の話を聞いて『今まで興味がなかったことにも目を向けて経験して進んでいくのも良いんだな』と感じられた」、「学生時代の様々な体験が仕事につながっているという言葉が一番印象に残りました」、「『やりたいことがなくても大丈夫』という価値観について深く考えることができた」、「自分が働いている職場を楽しむことが大切という話がすごく印象に残った」など、先輩たちの卒業後の経験や生き方の話に大きな刺激を受けている生徒たちも多かったようです。

卒業して10年、28歳の自分をイメージして高校の先、さらにその先を見据えた進路指導、「igusa 夢 project」も17年目を迎えました。生徒たちはしっかりと目的意識をもって進学先を選びその後社会人として各界で活躍しています。そんな井草高校の進路指導の特徴の一つが、毎年1年生向けに行っている職業ガイダンスです。実際に社会の第一線で活躍している職業人を招き、仕事のことや高校時代、大学生活のことなどを語ってもらう機会を設けています。

今回は「igusa 夢 project」のもとに巣立っていった私の教え子10人を招き、昨年11月に「キャリアアップ集中講座・しごと ～ようこそ先輩～」と題して進路ガイダンスを実施しました。卒業して10年前後の教え子たちは幅広い分野でそれぞれが生き生きと仕事をしています。先輩たちの講演に感銘を受けた生徒たちは今一度、高校のさらにその先に目を向けています。

井草会の諸先輩方もそうであったように、令和の井草生もより明確な目標を持ち、夢を実現させるために日々の努力を重ねています。これからも井草高校を応援してください。

(前 進路指導部長 武藤 亮)

講師紹介 (敬称略)

- ① 「建設業×ICTのしごと」
… 大成ロテック(株) 池田 直輝 (2009年卒B組)
- ② 「交通インフラを守るしごと」
… (株)浅羽製作所 石橋 岳 (2009年卒B組)
- ③ 「広告デザインのしごと」
… LIKI inc. 山岸 萌 (2012年卒C組)
- ④ 「環境を守るしごと」
… 東京二十三区清掃一部事務組合
杉山 直哉 (2012年卒D組)
- ⑤ 「【 】×獣医師のしごと」
… (株)and Vet・獣医師 安岡 恵斗 (2012年卒D組)
- ⑥ 「野菜のブランドコンサルティングのしごと」
… (株)シフラ 原 奈々美 (2012年卒F組)
- ⑦ 「障がい者の就職支援のしごと」
… パーソルチャレンジ(株)就労移行支援事業所
安齋 優佑 (2013年卒B組)
- ⑧ 「途上国から世界に通用するブランドをつくるしごと」
… (株)マザーハウス 池尻 燈 (2013年卒B組)
- ⑨ 「アパレルの企画販売のしごと」
… (株)キャン 平松 百々花 (2015年卒G組)
- ⑩ 「人材採用コンサルティングのしごと」
… (株)PM Agent 三浦 優美 (2015年卒G組)

母校への助成金活動報告

2022年度は「子供を笑顔にするプロジェクト」と「弓道部全国大会出場」を支援しました。学校と参加部員の報告およびお礼の言葉をご紹介します。(※文章は一部省略)

①「子供を笑顔にするプロジェクト」

昨年度は東京都教育委員会の企画、「子供を笑顔にするプロジェクト」へのご支援を頂き大変ありがとうございます。このプロジェクトは都内の学校向けに様々な体験を通じて子供たちが笑顔を取り戻すきっかけになるようにという目的で事業化されたものです。生徒たちが楽しみにしていた学校行事が中止となったり、友達との関りなどをはじめとして学校生活のいたるところで、様々な我慢をしながら過ごしてきたことは周知の事実です。生徒たちに笑顔が見られるような企画をとということで、歌手で女優の大原櫻子さん(2015年にはフジテレビ系ドラマ『恋仲』に女優として出演したり、その年の大みそかには、「瞳」という曲で『第66回NHK紅白歌合戦』に出場しています)をお招きし、トークショー及びギターによる弾き語りをして頂きました。生徒たちには当日までシークレットにしており、ご本人が登場した際には驚いた顔や楽しそうな顔を見ることができました。

(島岡 恵一 副校長)

かった的中は1本でした。その1本、自分の矢が当たっていただくと、悔しい気持ちが込み上げてきます。今回の大会では、1本の重要さを痛感しました。これから残されている大会では1本1本しっかり引き切り、楽しさと嬉しさだけを感じられるよう、日々稽古に励みたいと思っています。

◆2年G組 三國 央人さん

補欠として同行させていただきました。熊本県にて行われた全国大会への参加を通し、自分たちの現状把握と今後の目標をはっきりと見つめることができました。自分たちが怠惰だったとは思いませんが、実力不足であったことは事実です。全国レベルというものを身をもって感じ、自分たちとの差を知りました。だからこそ次回は今回のようにはならず、経験だけでなく結果も持ち帰ろうと決意ができました。結果こそ悔しいものとなりましたが、大きな収穫のある大会となりました。応援ありがとうございました。

※学年は当時

② 弓道部全国大会出場

日頃より弓道部の活動に、御理解と御支援を賜りまして誠にありがとうございます。弓道部は、12月に熊本県熊本市において開催された第41回全国高等学校弓道選抜大会に、東京都代表として男子個人と男子団体の部に出場してきました。各都道府県の予選を勝ち抜いた、個人100名、団体51校で競われ、入賞を目指して戦いましたが及びませんでした。技術面、精神面での全国との差を実感し、その差を埋めるべく生徒も稽古に励んでいるところです。今後も高い目標に向けて引き続き努力していきます。

井草会の皆様からの御支援を賜り、今回の大会に出場することができました。厚く御礼申し上げます。

(粕谷 真由美 校長)

◆2年G組 新垣 太規さん

今回、全国選抜大会に出場しての感想は、まずはすごく楽しかったです。普段では経験することのできない独特の雰囲気、緊張感を肌で実感することができ、そしてその場で引くことができたことが何より楽しかったです。しかし、悔しさも同時に感じました。今回は個人、団体ともに出場させていただきましたが、どちらも完全に力を出し切ることができなかつたように感じています。双方ともに、次に進むために足りな



第41回全国高等学校弓道選抜大会
実施風景と参加した生徒4名

2023年度定時幹事総会報告

コロナウイルス感染拡大のため、メールまたは郵送による書面開催が3年続きましたが、今年度は久々に母校視聴覚室にて対面の実開催となりました。

当日は幹事34名の出席（＋委任状289名）により幹事総会の必要定足数50名を満たし、6月3日（土）の総会が成立しました。来賓として粕谷真由美校長、金子敬太副校長、稲津浩一PTA会長にご臨席いただき、それぞれの方々より母校支援に対する感謝の言葉と今後も協力をお願いしたいとのご挨拶がありました。

議案書に基づいて、2022年度の各委員会事業報告・決算報告・監査報告があり、役員の委員会異動・新理事就任の承認に続いて2023年度の事業計画案・予算案が審議され、議事はいずれも賛成多数で承認可決となりました。

今年度より会報委員会委員長に新妻成一さん（35F）が、事務局庶務に宮崎博美さん（37B）が就任し、新会報委員として出野由美子さん（35A）、高田佳穂里さん（35B）、本間潤さん（35D）が参加します。どうぞよろしくお願いたします。

井草会援助金制度のご案内

井草会では、同期会、クラス会、OB・OG会等の開催に対して援助金制度を設けています。この制度は井草会の事業の一環であり、会員の年会費によって賄われています。

【利用条件】 援助金は、30名以上の同期会、15名以上（65歳以上は10名以上）のOB・OG会やクラス会に対して給付されます。

【援助額】 千円／人で、クラス会は3万円、その他の会は5万円を上限とし、年に1回限りの利用となります。※2年連続の利用はできません。

【手続】 井草会ホームページの援助金事前申請フォーム（下記URL）に会合名・目的・参加予定人数・開催予定日・幹事名（卒年・組）を入力し、**必ず開催日の1週間前までに申請してください。**

<https://www.igusakai.org/enjokin/>

【通知】 受け付け確認後、担当者よりその後の手続きの詳細をメール等にてお知らせいたします。

2022年度決算・2023年度予算

2023年3月31日現在

収 入		(単位：円)		
項 目	2022年度予算	2022年度決算	2023年度予算	
繰 越 金	3,810,145	3,810,145	3,604,735	
入 会 金	960,000	960,000	1,040,000	
会 費 収 入	2,800,000	2,686,000	2,600,000	
寄 付 収 入	600,000	672,846	600,000	
雑 収 入	—	125	100	
計	8,170,145	8,129,116	7,844,835	

支 出		(単位：円)		
項 目	2022年度予算	2022年度決算	2023年度予算	
会 報 委 員 会	2,950,000	2,749,614	2,970,000	
会 報 通 信 費	1,270,000	1,136,923	1,270,000	
会 報 印 刷 費	650,000	578,442	600,000	
そ の 他	930,000	986,725	1,000,000	
委 員 会 活 動 費	100,000	47,524	100,000	
同 窓 会 委 員 会	500,000	94,438	600,000	
ク ラ ス 会 等 援 助 金	400,000	92,000	500,000	
委 員 会 活 動 費	100,000	2,438	100,000	
イ ン タ ー ネット 委 員 会	100,000	7,716	100,000	
事 務 局	900,880	844,598	1,000,880	
活 動 費	300,000	297,888	400,000	
井 草 高 校 助 成 金	300,000	300,000	300,000	
年 会 費 振 込 手 数 料	300,000	246,710	300,000	
入 会 金 振 込 手 数 料	880	0	880	
会 計	10,000	8,015	20,000	
予 備 費	100,000	20,000	3,153,955	
か ら ま つ 山 荘 閉 荘 資 金	800,000	800,000	—	
支 出 合 計	5,360,880	4,524,381	7,844,835	
次 年 度 繰 越 金	2,809,265	3,604,735	—	
計	8,170,145	8,129,116	7,844,835	

財産目録

(2023年6月3日現在) 単位：円

特別資金	15,500,000
(事務所開設準備金の科目名変更実施)	
母校支援特別資金	800,000
(からまつ山荘閉荘資金) 2021年度繰越金から資産計上に振替	
資産計上計	16,300,000



井草会 掲示板

■ 年会費・寄付の納入方法

井草会は会員の方々の年会費（2,000円）で運営しています。同封の払込用紙以外でも納入できます。年会費以外に寄付も受け付けておりますので、ご協力をお願いします。

◆スマートフォンアプリからも払い込みできます。決済額はコンビニ払い同様、払込用紙に印字されている金額のみのお支払いとなります。

◆払込用紙での納入（郵便局） ※コンビニも可

井草会報に同封の払込用紙では郵便振替とコンビニエンスストアでの払い込みができ、いずれも払込手数料は不要です。ただし、郵便局窓口で現金を払い込む場合は110円の加算料金が必要となっておりますのでご注意ください。ゆうちょ銀行のキャッシュカードまたは通帳払いですと加算料金は不要です。

◆郵便振替

東京00120-4-84359 井草会

◆一般金融機関から振り込み（ネットバンク使用可）

一般の金融機関、ネットバンク等から振り込まれる場合は下記の口座をお願いします。振込手数料はご負担ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
店名	〇一九店（ゼロイチキユウ店）
口座種目	当座
口座番号	0084359
口座名	イグサカイ
年会費	2,000円 ※2,000円を超えた金額は寄付
振込（依頼）人名	卒回または卒年 組 氏名（旧姓）
※例：38C イグサハナコ（ヤマダ） 1986C イグサハナコ（ヤマダ）	

◆寄付・その他

井草会報に同封の年会費払込用紙の金額を修正して郵便振替、または一般金融機関から振り込みができます。ただしコンビニエンスストアでの寄付納入はできませんのでご注意ください。

恩師の訃報

茅根 正之 先生（昭和40～54年、保健体育）
令和3年12月26日逝去

香取 良平 先生（平成13～16年、数学）
令和4年6月14日逝去

金城 和貞 先生（昭和54～平成3年、保健体育）
（昭和47年卒・24回生H組）
令和4年6月23日逝去

編集後記

幅広い世代に向けた会報づくりのため、今号では若い世代の皆さんに多くご登場いただきました。若いパワーを沢山もらって、紙面を作ることができました。

■ 2022年度一般寄付金寄付者名簿

2023年3月31日現在

下記の方々から貴重なご寄付をいただきました。有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

高校2	納原 治子	3	高校26	柏木 豊	1
高校4	関 美奈子	10		金子 守	1
高校4	加藤 啓子	20		大谷 宏	3
	河上喜美江	3	高校26	五十嵐 哲	3
高校6	石元さよ子	8		岡田雄一郎	3
高校7	谷 明	10		杉野 俊哉	1
	渡辺 さ子	8		永田 一郎	1
高校9	小松 啓子	10	高校27	青木 清志	8
	渡辺 正義	3		鳥谷 均	1
高校12	尾崎 政雄	3		町田 秀彦	50
	細野 恭代	3		坂本 俊幸	8
	中林 保彦	3		井手 房子	8
高校13	斉藤 勲	3	高校28	小原 久	30
	富岡 和子	8	高校30	畑田 明子	1
	渡辺 しづり	3		辻田 芳一	3
高校14	三宅 みどり	3		西尾 洋秋	3
	松本 洋子	3		石田 真樹	3
	林 健一	3		青木 章	1
高校15	渡辺 秀一	3	高校31	大場野 肇	3
	今井 千恵子	3		藤野 哲	3
	堺 公子	3		滝川 直	10
	中村 幸子	3		市川 潔	8
	川添 洋子	3		藤吉 和彦	2
高校16	植田 治之	5	阿部 恵	1	
	小島 弘	2	高校32	小原 健嗣	3
高校17	牛込 仁士	4		菅野 隆登志	10
高校18	鉄炮 寛	10		藤川 由美	1
	郡 明郎	8		武松 淳	18
	千葉 優子	3	高校33	中村 一郎	3
	塩谷 幸彦	2,846		安達 亜紀	10
	五味 敏昭	3		長尾 一明	3
高校19	高橋 勉	3		三澤 秀樹	3
	吉沢 典世	8	高校34	島田 隆司	3
	川勝 文雄	3		高野 郁人	1
高校20	野崎 暁	3	高校35	夏野 剛	10
	本山 和夫	18		樋口 貴紀	10
	石川 和重	3		小川 佳枝	3
	出井 喜一	8	高校37	市原 毅	8
	田中 英明	3		宇都木 夏也	2
高校21	佐々木志津子	2	高校38	相田 智成	3
	遊佐 暁彦	3		茂木 祥子	1
	井口 政幸	1		那須久美子	3
	植木 謙	8		古池 頼子	3
	原田 陽介	3	高校40	満川 元貞	1
	BATANIDES ETSUKO	20	高校41	吉浦 和孝	1
	片桐 隆	10		岡澤 周子	3
	宮本 静代	10	高校43	本多 弘明	2
高校22	戸倉 賢二	3	高校46	佐藤 道治	54
高校23	重松 明夫	1	高校47	小金平朝子	8
	田中 隆枝	3		宮川 伸一	10
	守村 卓	10	高校49	米川 輝	1
	松崎 章	8	高校51	葛城 英彦	3
高校24	山下 昭夫	6	高校71	江尻 翔	3
	中山 和巳	3	高校73	關根 悠里子	10
	青谷 淳一	8			
高校25	村上 俊雄	5			
	中条 啓一郎	10			

（敬称略、単位：千円）
寄付者数：111名 672,846円

井草会事務局

〒177-0044 練馬区上石神井2-2-43 井草高校内
ホームページ：https://www.igusakai.org

※お問合せはホームページから、または郵便でお願いいたします。